

かえるの そらとぶ けんきゅうじょ

原作・絵 村上 勉
「かえるのそらとぶけんきゅうじょ」(偕成社)
脚本 つげくわえ 演出 北村直樹
美術 杉山至 音楽・音響 ノヤママナコ
照明 四方あさお 衣裳 さくま晶子
宣伝美術 太田貴子 写真 服部義安
映像 山内崇裕



おれ、かえるのそらとぶけんきゅうじょ!

君は何の研究がしたい？

上演のご案内

構成人数 : 3名
上演時間 : 60分予定(休憩なし)
準備時間 : 3時間
片付け時間 : 1時間30分



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地
TEL.052-772-1882
FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんこは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



STORY

ドングリの木に、カエルとアマガエルとトカゲが暮らしていました。
 ある日、見たことのない毛むくじゃらがドングリの葉をバリバリと食べていました。
 このままでは葉がなくなってしまう!カエルは毛むくじゃらを見張ることに。
 ところがある日、毛むくじゃらは、美しいチョウになって飛び立っていきました。
 飛びたい…ぼくも空を飛びたい…その日からカエルの空飛ぶ研究が始まります。
 「応援するのが友達」と言うアマガエル。
 「無茶なことを止めるのが友達」と言うトカゲ。
 さて、この研究の行方は…?



夢をカタチに、 Step by Step!

自ら学び、自ら考えることの楽しさを伝えます。



「無理だね」というトカゲに
 「やってみなきゃわからないだろ」と
 カエルは飛行テストに臨みます。
 飛ぶ前のわくわく感、風を受けたときの高揚感、
 失敗の痛みも、やってみたからこそ感じるもの。
 そしてこの身体を通した体験は、
 次の探求心へとつながっていきます。
 研究が楽しくて仕方がないカエルの姿は、
 子どもたちの「やってみたい」という気持ちを
 応援してくれるでしょう。

うりんこ

どうやったら飛べるか、
それが問題だ

シンプルで、とても力強い物語に出会えました。
 空を飛びたいと真剣に願うカエルくと、
 その無謀な挑戦を見た親友のトカゲくとアマガエルくんのお話。
 コロナ禍で私たち演劇に関わる者たちの環境は激変しました。
 演劇という行為を果たして続けてゆけるのか?
 いや、続けられるかどうかではない。
 続けたい。だからやるんだ。
 そんなシンプルな答えを自らに言い聞かせながら、
 日々稽古場で格闘し夢と希望を持ち寄って、このお芝居を創りました。
 「飛べるか飛べないかじゃない。飛びたいんだ!」
 この舞台を観てくれた子ども達おとな達が、
 ふと遠く空を見上げてくれたら幸せです。

演出 北村直樹

飛べるか
飛べないかじゃない。
飛びたいんだ!

ぼくは、飛ぶ!

ERROR...

STUDY

すごい。
よくわからないけど、すごい!

よし、それでいこう。
アマガエル研究員!

所長!
こんな風に曲がります。

TRY!

そこから飛んだら
落ちるよ!

